

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
 発行人 増田 郁夫
 〒 378-0031 沼田市薄根町 4412 番地
 TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
 E-mail : tonekyou@pref.gunma.jp

ともに心豊かに歩む ～教え子からの学び～

利根教育事務所長 増田 郁夫

物が溢れ豊かになった反面、情報機器の普及で直接的な人との関わりが薄れてくるなど、社会環境が大きく変化してきています。そんな時代の中にあつてこそ、未来を逞しく生きる子どもたちに、豊かな心や人間関係力・正しい判断力等を育むことが大切になります。そのためには、学校と家庭や地域が連携して教育を行うことが重要です。かつて、教え子が「あの時だけは、透明人間になりたかった。」と呟いたことから学んだ、障害者への思いやりの心や家庭教育について、紹介させていただきます。

三十年ほど前、彩ちゃんの家は田舎の小さな農家でした。5年生になった彩ちゃんには、家族のために農家の手伝いをするという約束ができました。時には、友達と遊びに出掛けたくて、農業をしている両親を恨んだこともありました。また、家にはほとんど目が見えなくなってしまった祖父がいて、自分のこともうまくできない姿を見るのが辛くて、一緒に傍で過ごすのを時には避けることもありました。

秋になると、彩ちゃんの両親は、冷たい木枯らしが吹く頃まで、山の畑で一日中蒟蒻芋を掘っていました。11月の日曜日の朝、囲炉裏の脇で図書室から借りてきた本を読んでいた彩ちゃんに「庭に干して置いた蒟蒻芋を夕方には籠にしまっておいてね。」と、お母さんが頼むと、彩ちゃんは「嫌ねえ。勉強もあるし・・・。」と、畑に出かけるお母さんの後ろ姿に向かって大きな声で言いました。お母さんは「できるだけでいいの。」と振り返って言い、背中に背負った大きな籠を揺らしながらお父さんの後を追いかけて行きました。彩ちゃんは、本を囲炉裏の縁に置いたまま部屋へ行き、のんびりと過ごしているうちに眠りに入ってしまった。

随分経って、トタン屋根をたたく雨音で目を覚ましました。障子を開けて外を見ると空は暗くなり、今にもどしゃ降りになりそうでした。土間を駆け下りて外に出てみると、庭いっぱいには籠の上に広げてあった蒟蒻芋が、ほとんどありませんでした。驚いて庭の隅でござごそ動く影の方へ軒下伝いに行くと、目の悪い祖父が一つ一つ手探りで籠に入れ、すっかり片付けてくれていたのです。でも、庭をよく見ると、蒟蒻芋が踏まれていたり、蹴飛ばされて遠くに転がったりしていました。祖父は、雨の中まだ、手を地面に這わせながら一生懸命探し、白髪も節だらけの指も雨と汗でびしょ濡れになっていました。肩からは、白い湯気も出ていました。

その姿を見た時、祖父に仕事をさせてしまった自分がたまらなく恥ずかしく思えてきたのです。籠に片付けることだけでなく、必死に探している目の悪い祖父には彩ちゃんが見えなくても、透明人間になって、転がっている蒟蒻芋を手元にそっと置いてあげたくなったのです。やがて、彩ちゃんは残りを全て拾い、「じいちゃん、ありがとう。もう全部終わったよ。これで頭拭いてね。」と、手ぬぐいを手渡しました。

大人になって彩ちゃんがお嫁に行く前の日、病に伏して横たわっている祖父の枕元で、「じいちゃん、あの時は、ごめんね。ごめんね。」と、跪いて言ったのです。おじいさんは、「おうおう、そんなことをずっと気にしてたのかい。いいんだよ。あれは、わしの仕事だから。」と言うと、冷たい雨の中で、蒟蒻芋を手探りで探していたあの時のあの手で、彩ちゃんの頬を包み、ゆっくり手を這わせて涙を拭いてくれたのです。

年を取ったり、障害がでてしまったりしても決して人を差別してはならないことや、友達をいじめたりすることは人として恥ずべきことであり、そのような人は、例え透明人間になれたとしてもその心の醜さだけは、けっして透明にして隠せないことを小学生に教えていただきました。

人は互いに向き合って時を過ごすとき必ず心が開かれることや、子どもの夢を語り合うことで見つめている方向が同じだと分かると、心をつなげて共に歩み始めます。さらに、約束を守るだけでなくお互いを守り合い、心をよせ合わせることで、やがて夢は叶うものなのです。子どもたちは、自らの夢の実現に向けて元気に学び、着実に未来をきり拓いていきます。引き続き、子どもたちが「楽しく学び合い、確かな学力を支える豊かな心を育むとともに、自ら健康を管理し逞しい体づくり」ができるようご指導・ご支援をしていただきたいと思います。

効果的な「振り返る」学習活動に向けて

利根沼田管内では、確かな学力をはぐくむために、「振り返る」学習活動を取り入れた授業が増えています。その一方で、「振り返る」学習活動をさらに効果的にするには、どうすればよいかという声も聞かれます。そこで今回は、「振り返る」学習活動を充実させるポイントを紹介します。



(5年班)

「振り返る」学習活動が重視されている背景などを教えていただきたいのですが。

『小学校学習指導要領解説 総則編』には、「見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視」について、次のように書かれています。(文中の…は省略部分)

今回の改訂では、…児童の学習意欲の向上を重視している。…児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れ、自主的に学ぶ態度をはぐくむことは、学習意欲の向上に資する…。…これらの指導を通じ、児童の学習意欲が向上するとともに、…学習内容の確実な定着が図られ、…と考えられる。

つまり、「学習意欲の向上」や「学習内容の確実な定着」につながるよう、「振り返る」学習活動を取り入れることが重要なポイントとなります。具体的に確認をしてみましょう。



(学力向上
コーディネーター)

*『小学校学習指導要領解説：総則編』P58・59 から抜粋、『中学校Ⅱ』は P61・62 参照

ポイント：評価項目を意識し、子どもが何を学んだのかを実感できる「振り返る」学習活動を行い、学習内容の確実な定着が図れるようにする

算数の授業（5年「簡単な比例」）で、ほとんどの子どもが、「今日は比例がよくわかりました。」と振り返っていました。自分としては満足しているのですが…。

この時間に学んだ比例の内容については、具体的にどんなことを振り返っていましたか？

内容について振り返っていた子どもは、ほとんどいませんでした。

評価項目は、「一方が2倍、3倍になれば、もう一方も2倍、3倍になるなどの変わり方の特徴を見いだしている。」ですから、これに沿った振り返りができると学習内容の確実な定着につながりますね。何を学んだのかを子どもが実感できることが大切です。

表面的な振り返りで満足してはいけないのですね。



ポイント：子ども主体の学習過程に「振り返る」学習活動を取り入れ、学習意欲の向上が図れるようにする

算数でのアドバイスをもとに、理科の時間（「電流の働き」）に振り返らせました。「乾電池の数や導線の巻き数を多くすると、電磁石の働きが大きくなる。」という学習内容の振り返りに加えて、「予想が正しいかを、自分が考えた方法で確認できてうれしかった。」「導線を太くしたら、電磁石の働きは大きくなるか調べてみたいと思った。」などと振り返っていた子どももいました。

素晴らしいですね。学習意欲にかかわる振り返りも出てきたのですね。どんな授業だったのですか？

自分の予想に基づいて、子どもがいろいろ試せるような活動を取り入れました。

子どもが見通しをもって主体的に追究し、振り返るような学習を行ったからこそ学習意欲の向上につながる振り返りもできたのですね。教師が振り返りの方法だけをどんなに工夫しても、子どもが主体的に学習しなければ、このような振り返りは難しいですね。



「学習意欲の向上」と「学習内容の確実な定着」を意識して授業を行い、「振り返る」学習活動を充実させたいと思います。見通しをもたせることの大切さもわかりました。

